新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～９月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

美しものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なるものに触れたときの感覚、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などの様々な形の感情がひとたびよびさまされると次にその対象についてもっと知りたいと思うようになります。そのようにして見つけ出した知識はしっかりと身につきます。

レイチェル・カーソン「センスオブワンダー」より

授業で育てたトウモロコシが大きくなった。小さな種から大きく成長する生命力がすごいと思った。
（５年女子）

今年も、山車作りが始まった。「もう少しで新庄まつりだ」と思うと、わくわくしてきた。（５年男子）

涙は、怒られたりいやなことがある時だけでなく、感動したりうれしい時も出るのが不思議だ。（６年女子）

大雨が降った時、水がにごったり、田んぼの土手が崩れたりした。自然の力はすごいと思った。
（６年男子）

巣から落ちた小鳥が網に引っ掛かっていた。しばらくすると小鳥は網から抜け出し、飛ぶ練習をしていた。すごいな。（４年女子）

勉強していたら、力強いセミの鳴き声とかすかな風鈴の音がした。暑いけれど、心は涼しくなった。
（４年男子）

夕方空を見上げたとき、ピンクと水色のしまもようだった。あんなにきれいな空は初めて見たので感動した。
（４年女子）

雨上がりに庭を見た。太陽が野菜を照らし、野菜についていた水滴がまるで宝石のように輝き、きれいだった。（６年女子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第４号　H30.9.19